

県下の交通事故

(平成12年3月20日現在)

年別	区分	発生件数	死者	傷者
平成11年		1,317件	15人	1,737人
平成12年		1,346件	17人	1,738人
比較		+29件	+2人	+1人



第 132 号

発行所 甲府市丸の内一丁目9-11  
県民会館2階  
財団法人 山梨県交通安全協会  
山梨県交通安全活動推進センター  
TEL (055) 232-4682



手を上げて、右よし左よし、はい横断

運動の重点

- 一、子供と高齢者の交通事故防止
- 二、チャイルドシートとシートベルトの着用の徹底
- 三、飲酒運転の絶滅

# 守ろうよ 最低限の交通ルール

今年も春の全国交通安全運動が、四月六日から十五日までの十日間実施されます。この運動は、県民一人ひとりに、交通安全の知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とする運動です。県民あげて、この運動を成功させましょう。

## 春の全国交通安全運動

4月6日(木)から  
4月15日(土)まで

昨年の県内の交通事故による死者は八十三人と、大幅に減少しましたが、これは昭和三十四年以来、実に四十年振りとなる大きな成果です。しかし、事故発生件数及び負傷者数とも昨年と同様増加しています。これらの事故状況を見ますと、高齢者の死者増加が大きな特徴となっており、重要な課題です。このような、交通事故の分析結果を参考に、本運動の重点を定めたものです。

○子供と高齢者の交通事故防止  
四月に入り、慣れない通学(園)路を通い始める新入児童・園児を交する交通事故から守るとともに、高齢者の事故防止を図ります。

トベルトの着用の徹底  
四月一日からチャイルドシートの着用が義務づけられます。山梨県はJAFによる調査では、シートベルト着用率が全国で最低という状況です。今年も本県の真価が問われる年でもあります。

○飲酒運転の絶滅  
本県は、飲酒運転に対し、甘い面が見られます。飲酒が予想される場合等へは「車を運転して行かない」「酒を飲んだら車を運転しない」「運転するなら飲まない」「三つ葉の運動を徹底する」とともに、飲酒運転の危険性や違法性及び責任の重大性を再確認して、自他ともに及ぼす影響についてよく話し合い、家族ぐるみで飲酒運転を追究しましょう。



安全のために  
交通安全を命ぜられた一瀬

## 成熟した車社会の実現を目指して

山梨県警察本部交通部長 一瀬 論



この三月の異動により、交通安全部長を命ぜられた一瀬です。我が国の道路交通を取り巻く情勢は、運転免許人口や車両保有台数の増加など量的変化を遂げたことに加え、生活行動の多様化や高齢化社会の進展など質的变化を背景に依然として厳しいものがあります。

このような情勢の中で、昨年、県内では八十三名の人が交通事故により、その尊い命を失うとともに、交通事故発生件数は、統計史上最悪という望まざる記録を更新しました。

勢の変化に的確に対応した安全な通行方法や自転車の安全な利用方法などを積極的に学んでいただくとともに、自動車や二輪車を運転される方は、加齢に伴います、ご自身運転適性を日頃から把握し、更新し、

握していただきたいと思ひます。また、昨年の県内での交通事故死者のうち、四二名の方がシートベルトを着用する義務がありましたが、着用率は一〇名で、その着用率は二・三・八％と極めて低調な状況にあります。

一方、四月六日から十日間、春の全国交通安全運動が実施されます。本年は、年間死者数を九〇人未満とする第六次山梨県交通安全計画の最終年であり、当初から増加傾向で推移しており、先行きが憂慮される状況にあります。

交通安全死亡事故減少の定着化に向け、各種事故防止対策を推進してまいり、所存でありますので、皆様方のお一層のご理解と御協力をお願い申し上げます。

交通安全協会(県安協)は、創立七十五周年、財団法人認可三十周年の記念すべき年を迎え、今後とも安全で快適な車社会山梨の実現を目指します。

△県安協は、交通道德の普及高揚や交通事故防止等を目的として設立された民間法人ですが、道路交通法改正で平成十年四月一日付で、県公安委員会から「山梨県交通安全活動推進センター」の指定を受け、県内で交通安全活動を行う団体として法律上認知されました。

△一方、県内十五署ごと設立の各地区安協は、交通事故のない安全な地域づくりを目的に発足した民間ボランティア組織で、交通安全運動等での街頭指導や交通安全思想の普及、啓発活動などを行う任意の団体です。

△県安協は、十五地区安協とは上下関係のない独立組織ですが、地区安協会長等が県安協の役員等に就任していることから地区安協との連絡、調整等も行いやすく密接な協力関係にあります。

△「水と安全はタダ」から「安全は自からちとるもの」と時代認識は移行しつつあるといわれています。県・地区安協とも、県民の皆様の安協活動へのご理解とご支援を糧として、今後一層連携を強め、県内の交通安全に全力を尽くしてまいりますので一層のご協力をお願いいたします。



## より積極的な安全活動を

### 県安協理事・評議員会

県交通安全協会は、三月二十日甲府市のホテル談露館で、理事会並びに評議員会を開き、平成十二年度の事業計画（案）及び同予算（案）などが提案審議され、さらに四月六日より十五日までの十日間開催される全国交通安全運動への取り組み方針や当面の問題点等を協議しました。

理事会及び評議員会では、堀内会長欠席のため山下道男副会長が「昨年は交通事故死者を、記録的な八十三人に抑止したが、これも役員各位の努力の結果で敬意と感謝の意を表し、今後、最重要となる安全教育の適切な推進など、安協を取りまく環境も一段と厳しくな

計画（別掲）と収支予算（案）等が審議のうえ承認・決定されました。このあと、春の全国交通安全運動の取り組みについて協議し「交通安全は県民一人ひとりが主役」であることを自覚させるよう、各地区安協とともに創意工夫をこらして運動をすすめることを確認しました。

県交通安全協会は、三十一日までの二百日間実施され、平成十二年二月十五日、甲府市の山梨県民文化ホールで、目標達成チームなどの表彰式が行われました。

この作戦は、県内に居住または勤務し、自動車・二輪車の免許を有する者十人でチームをつくり、全員が無事故無違反を競いあうものです。

今年、過去最高の千八百七十一チーム（一万八千七百十人）の参加があり、千六百四十四チーム（達成率五五・九％）が目標を達成し表彰を受けました。

## 1064チーム目標達成

～チャレンジ200作戦～  
みんなで安全運転

大会委員長あいさつ



意識の高揚を図り、その習慣化を促進するため、平成十一年度セーフティードライブ・チャレンジ200作戦が、平成十一年六月十五日から十二月

参加チームの状況を見ますと、会社、職場関係が千五百四十一チームで協会・団体等が続き、多

ヤイルドシート着用及び普及促進等

3、交通安全推進県民大会の開催

4、交通功労者・優良運転者・団体等の表彰

5、県安協創立三十周年記念事業の推進

6、交通安全啓発宣伝活動の推進

広報資料の作成配布、映画・ビデオ等の購入と貸出し、反射材の販売、普及、機関紙「安協ニュース」の発行、テレビ・ラジオ・新聞等マスメディアによる啓発宣伝、交

## 平成十二年度事業計画

### 事業計画

②シートベルト・チャイルドシートの使用が義務づけられたのを機会に、人命の尊厳と、交通安全の必要性を再認識し、交通事故を抑制して快適な交通環境を確立し、安全で住みよい社会実現のため

③飲酒運転追放活動の推進、④歩行者・自転車利用者の安全確保、特に高齢者や子供等の交通安全啓発活動の徹底、等、交通安全県民運動の推進、シートベルト・チャ

⑤反射材着用の促進普及

⑥交通安全啓発宣伝活動の推進

## 安協だより

私たち、鯉沢交通安全協会では、交通事故のない安全で住みよい社会をつくるため地域に密着した交通安全対策を積極的

に推進しました。

昨年の鯉沢警察署管内の交通事故

は、発生件数で一九件、負傷者数で三十三人と大幅に減少

しましたが、死者数は前年と同数になってしま

しました。

しかし、私たち鯉沢安協が鯉沢警察署等関係機

関の皆さまと一致団結した活動の成果が実を結

びました。

また、一チーム内における違反者数（八百七十七人中）一人が五百三十三人（達成率九四・一％）、男性九三・五％、女性九六・三％でありました。

達成出来なかったチームの状況を見ますと、年齢や階層別では十六、二十四歳の若者の交通事故や違反が多く、また事故原因では安全運転義務違反が最も多く、さらに違反別ではシートベルト着用義務違反や速度超過等が多くなっているよう

です。

参加された方も、また参加されなかった方も、毎日安全運転に心掛け、無事故無違反を励行していただき

たいと思います。

主催者側は、来年度はさらに参加チームをふ

や、交通安全や違反の多い山梨県にしようと意気込んでいました。

また、一チーム内における違反者数（八百七十七人中）一人が五百三十三人（達成率九四・一％）、男性九三・五％、女性九六・三％でありました。

達成出来なかったチームの状況を見ますと、年齢や階層別では十六、二十四歳の若者の交通事故や違反が多く、また事故原因では安全運転義務違反が最も多く、さらに違反別ではシートベルト着用義務違反や速度超過等が多くなっているよう

です。

参加された方も、また参加されなかった方も、毎日安全運転に心掛け、無事故無違反を励行していただき

たいと思います。

主催者側は、来年度はさらに参加チームをふ

や、交通安全や違反の多い山梨県にしようと意気込んでいました。

また、一チーム内における違反者数（八百七十七人中）一人が五百三十三人（達成率九四・一％）、男性九三・五％、女性九六・三％でありました。

達成出来なかったチームの状況を見ますと、年齢や階層別では十六、二十四歳の若者の交通事故や違反が多く、また事故原因では安全運転義務違反が最も多く、さらに違反別ではシートベルト着用義務違反や速度超過等が多くなっているよう

です。

参加された方も、また参加されなかった方も、毎日安全運転に心掛け、無事故無違反を励行していただき

## 地域に根ざした安協活動

鯉沢安協会長 石澤道夫



特に、管内に居住しておられます三人兄弟姉妹を、対象に実施しました「交通安全だんご三兄弟大声大会」は、県内をはじめ、関東区域にも紹介されるなど、タイムリーな事業を推進できました。

また、鯉沢警察署管内の交通事故の分析結果に基づき、多発する交差点の合流頭等の事故を抑止するため、各種交通安全運動や緊急対策実施時に街頭監視活動を強化し、一時停止や安全確認の励行などの安全運転を呼び掛けました。

また、一チーム内における違反者数（八百七十七人中）一人が五百三十三人（達成率九四・一％）、男性九三・五％、女性九六・三％でありました。

達成出来なかったチームの状況を見ますと、年齢や階層別では十六、二十四歳の若者の交通事故や違反が多く、また事故原因では安全運転義務違反が最も多く、さらに違反別ではシートベルト着用義務違反や速度超過等が多くなっているよう

です。

参加された方も、また参加されなかった方も、毎日安全運転に心掛け、無事故無違反を励行していただき

たいと思います。

主催者側は、来年度はさらに参加チームをふ

や、交通安全や違反の多い山梨県にしようと意気込んでいました。

また、一チーム内における違反者数（八百七十七人中）一人が五百三十三人（達成率九四・一％）、男性九三・五％、女性九六・三％でありました。

達成出来なかったチームの状況を見ますと、年齢や階層別では十六、二十四歳の若者の交通事故や違反が多く、また事故原因では安全運転義務違反が最も多く、さらに違反別ではシートベルト着用義務違反や速度超過等が多くなっているよう

です。

参加された方も、また参加されなかった方も、毎日安全運転に心掛け、無事故無違反を励行していただき

たいと思います。

主催者側は、来年度はさらに参加チームをふ

や、交通安全や違反の多い山梨県にしようと意気込んでいました。

また、一チーム内における違反者数（八百七十七人中）一人が五百三十三人（達成率九四・一％）、男性九三・五％、女性九六・三％でありました。

達成出来なかったチームの状況を見ますと、年齢や階層別では十六、二十四歳の若者の交通事故や違反が多く、また事故原因では安全運転義務違反が最も多く、さらに違反別ではシートベルト着用義務違反や速度超過等が多くなっているよう

です。

参加された方も、また参加されなかった方も、毎日安全運転に心掛け、無事故無違反を励行していただき

たいと思います。

### 新入学児に

黄色い帽子贈る

ことしも、入学シーズンを迎え、第二十三回黄色い帽子を贈る運動が実施され、県下の新入学児

約九千二百人に黄色い帽子が贈られました。

平成十一年中県内の小学一年生の交通事故は、件数が六十七件で、特に歩行中の事故発生が四十三件と非常に多くなっ

ています。

これを県内小学校全体と比べてみますと、件数で百七十三件であり、一年生の関係事故は、全体の約四〇％となります。

全体的にも、事故発生は

高学年より低学年の方が多くなっていますので、ドライバーの皆さんは、小さい子供、黄色い帽子等を見ましたら、スピードを落とし安全な運転をお願いします。

は、多発する交差点の合流頭等の事故を抑止するため、各種交通安全運動や緊急対策実施時に街頭監視活動を強化し、一時停止や安全確認の励行などの安全運転を呼び掛けました。

また、一チーム内における違反者数（八百七十七人中）一人が五百三十三人（達成率九四・一％）、男性九三・五％、女性九六・三％でありました。

達成出来なかったチームの状況を見ますと、年齢や階層別では十六、二十四歳の若者の交通事故や違反が多く、また事故原因では安全運転義務違反が最も多く、さらに違反別ではシートベルト着用義務違反や速度超過等が多くなっているよう

です。

参加された方も、また参加されなかった方も、毎日安全運転に心掛け、無事故無違反を励行していただき

たいと思います。

自動車や原付自転車には必ず任意の自動車保険を付けましょう。  
損害保険代理店  
**株式会社 たいよう共済山梨支店**  
甲府市丸の内2丁目32-13  
日東ビル4階  
TEL055-228-0691

平成十一年中に山梨県内で発生した全人身交通事  
故のうち、飲酒運転を原  
因とした事故が占める割  
合は四・八二％で、全国  
では沖縄県に続くワース  
ト二位という最悪の結果  
となっています。

山梨県警察本部交通部  
では、平成十一年中に飲  
酒運転の取締りに重点を  
置いて実施したところ、  
摘発件数は過去二十年間  
で最も多かった平成十年  
中より五四六件も多い  
二、四二二件を記録し、そ  
のことが飲酒による十一  
年中の死者数を前年より  
十一人減少させることに  
つながったとしています。

そこで、県警交通部が  
行った平成十一年一月一  
日から同年十月三十一日ま  
での十ヶ月間における飲  
酒運転の取締り状況に基  
いて飲酒運転の形態及び  
特性並びに酒と交通事故  
発生とのメカニズムなど  
について検討してみまし  
ょう。

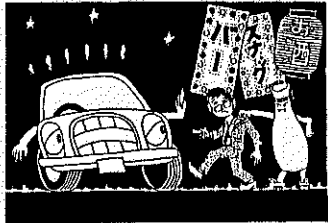
一、飲酒運転違反者  
の形態  
●男性がほとんど  
検査された違反者は、  
男性が一、八四二人  
(九一・九％)、女性  
が一六二人(八・一％)  
●四十歳代が最多  
年齢別では四十歳代が五  
二一人(二六・〇％)  
で第一位、二十歳代が四  
八八人(二四・四％)  
で第二位。飲酒が禁じ  
られている十代の若者  
が二人も含まれてい  
るなど、飲酒運転に甘  
い県民性がうかがえま  
す。

●建設業関係者が一位  
職業別では、建設業関  
係者が四〇五人(二  
〇・二％)で第一位、  
製造業が三〇八人(一  
五・四％)で第二位。  
ほかに公務員が五〇  
人、大学生が二〇人、  
高校生一人と、違反者  
は各層に及んでいる点  
で注目されます。

●飲酒先はスナック等  
飲酒先別では、スナッ  
クが最も多く、次いで  
飲食店、居酒屋、バー  
など、酒を飲んだ後、  
運転するケースがほと  
んどです。

## 飲酒運転が事故を呼ぶ!!

摘発が2,422件、過去二十年で最多



アルコールは、大脳を  
麻痺させて人間の諸機  
能を段階的に鈍化させ  
る作用を持っているた  
め、酒を飲むと行動を  
調整している理性が崩  
壊して自己統制能力を  
失い、結果的には人間  
らしい行動がとれなく  
なります。

分だけ事故をおこさ  
ないと思いき、なん  
の迷いもなく車を運  
転します。交通事故の  
発生につながります。  
●飲酒運転を行う理由  
「明朝の出勤に困る」  
「明日の仕事にどうし  
ても車が必要」「もう  
バスや電車がこない」  
「あとで車を取りに行  
くのが面倒なので」な  
どがあげられますが、  
全てが自己勝手な自分  
都合のみの判断とな  
っているようです。

クや居酒屋など飲食店  
が一、五七人(七六・  
二％)で第一位、自宅  
が一、二二一人(一〇・  
六％)で第二位。飲酒  
の理由としては「付き  
合い」や「無任や会合」  
などが多く、無任など  
を通じて交友関係を大  
切にしようとする県民  
性や飲酒運転に寛大な  
土壌が、うかがえます。

二、飲酒運転の特質  
●理性の崩壊  
アルコールは、大脳を  
麻痺させて人間の諸機  
能を段階的に鈍化させ  
る作用を持っているた  
め、酒を飲むと行動を  
調整している理性が崩  
壊して自己統制能力を  
失い、結果的には人間  
らしい行動がとれなく  
なります。

三、飲酒運転による  
交通事故の発生  
●酒を飲んでも動作反  
応は変わらない状態であ  
っても、飲酒運転は、交  
通事故発生につきま  
と、うばんや運転を誘発  
する源となり、誤反応  
やボカ反応を引き起こ  
す原因になります。こ  
れにより、必要とされ  
る認知や判断能力に影  
響を及ぼす精神機能が  
確実に低下します。

●飲酒運転で事故をおこ  
すと、一般の道路交通  
法違反原因の事故より  
一層厳しい刑事、  
民事、行政上の責任が  
なされる。

山梨県内の運転免  
許証保有者数は、五五  
四、五二〇人(平成十  
一年末)で、このうち  
六十五歳以上の方は六  
三、六五五人です。ま  
た、県内に住む六十五  
歳以上の方  
の約四二  
パーセント  
(二一、三七  
人に一人)  
が運転免許  
証を保有してあり、そ  
の保有率は全国対比  
一・二倍となっていま  
す。

## シグナル

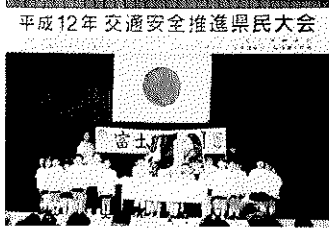
### 高齢運転者にゆとり講習

力の低下を知り、ゆとり  
のある安全な運転を心が  
けましょう。  
●高齢者の身体的特徴  
・六十歳を越えると、動  
きながら物を見る視  
力、動いている物を見  
る視力(動体視力)が  
急速に低下する。  
●交通安全教育の必要性  
県警では、六十五歳以  
上者で、最近では加害者  
になるケースが増加して  
います。高齢者は自分  
自身では安全運転をして  
いるつもりでも、他人か  
らみれば安全運転とは言  
えない場面がみられます。  
●交通安全の現状  
高齢者が運転中に発生  
する交通事故は、「交差  
点での出会い頭事故」「追  
突による事故」が多くな  
っています。「交差点で  
の出会い頭事故」では、特  
に白転車と歩行者の事故  
が多く発生しています。  
(県警交通安全課 二井光男)

## 自らが交通安全の主役

平成12年度交通安全推進県民大会

大会宣言を採択



アピオ甲府で開催された表彰式

平成十二年交通安全推  
進県民大会が、一月十八  
日、昭和町のアピオ甲府  
で、県交通安全協会と県  
交通安全活動推進センタ  
ーが主催、県・県警本部  
・県教育委員会・関東  
運輸局山梨陸運支局など  
十八の機関・団体の協賛  
により開催されました。  
大会は、県警音楽隊の  
演奏から始まり、第一部  
は、県警本部、高尾県議  
会議員、秋山警察本部  
安委員、多数のご来賓を  
迎え、厳粛かつ盛大に行  
われました。

交通安全宣言  
平成十一年の交通安全  
事故による山梨県内の死  
亡者は、県民にとって大  
きな痛手となりました。  
ここに、平成十二年交  
通安全推進県民大会に  
参加する全ての県民が、  
交通安全の重要性を認識  
し、交通安全の推進に  
協力することを誓います。  
一、交通安全教育の推進  
二、歩行者、自転車利用  
者、特に高齢者、子供  
の交通安全教育の徹底  
三、シートベルトの着用  
の徹底とチャイルドシ  
ートの正しい使用に関  
する普及啓発活動の推  
進  
四、飲酒運転の厳格な  
取り締まりの徹底  
五、交通事故の防止に  
関係する全ての関係者  
の協力  
平成十一年一月十八日  
平成十二年交通安全推  
進県民大会

★各車種の免許(大型・普通・大  
特・けん引の各第一種、第二種  
免許及び普通二輪免許)の取得  
ができます。  
★早朝・夕方・日曜その他あな  
たの生活条件に合わせた教習が受  
けられます。  
財団法人  
山梨県交通安全協会経営  
公認 山梨自動車学校  
中巨摩郡八田村野牛島1828  
(運転免許センター内)  
TEL (055) 285-0752



# 意見交換と結束図る

## 各地区ブロック研修会



事故防止を誓う峡南ブロック研修会

県下の交通安全協会では、交通情勢や交通法令の修熟及び地域に根ざした、より有効な安協活動を行うため、各地区安協の役員が意見交換と相互の結束を図る場として、毎年数安協で構成されたブ

### ○峡西・北ブロック研修会

小笠原・韮崎・長坂の三交通安全協会が構成されているブロックは、二月五日、韮崎市のホテル舟山において、三安協の役員等二十四名が参加して開催。

### ○郡内ブロック研修会

都留・富士吉田・大

## 各安協の定期総会予定

県下各地区交通安全協会では、四月下旬から六月上旬にかけて、それぞれ定期総会の開催を予定しております。

なかで、取り組んで来た昨年度の事業報告、決算報告と、交通事故防止対策をさらに強力に推進するための本年度の事業計画案、予算案等を審議す

安協名	日時	場所
甲府	平成12年5月25日(木)P4	古名屋ホテル
南甲府	平成12年5月30日(火)P4	アピオ甲府
小笠原	平成12年5月19日(金)P5	魚覚
韮崎	平成12年5月19日(金)P4	ホテル舟山
長坂	平成12年5月26日(金)P3	長坂町役場 会議室
鰺沢	平成12年5月下旬	
南部	平成12年5月12日(金)P4	南部警察署 会議室
市川	平成12年5月23日(火)P4	丹頂館
石和	平成12年5月17日(木)P4	石和観光温泉ホテル 会議室
日下部	平成12年5月30日(火)P3	日下部警察署 会議室
塩山	平成12年5月10日(水)P4	塩山警察署 会議室
都留	平成12年5月30日(火)P4	富士女性センター 大研修室
富士吉田	平成12年5月23日(火)P4	ホテル鐘山苑
大月	平成12年5月下旬	
上野原	平成12年5月19日(金)P3	上野原警察署 会議室



## 中央大会で意見発表

### 大月安協

第40回交通安全全国国民運動中央大会が一月十二、十三日開かれ一日目の分科集会上で交通安全協会の副会長兼婦人部長の志村きよ子さんが、地域家庭部会で代表として意見発表を行いました。



中央大会で意見発表の志村きよ子さん

と発表を行い、参加者から大きな共感を寄せられた。

内容は、大月安協での主な活動(高齢者の交通安全教育、チャイルドシートの無料貸出し、幼稚園・保育園児に交通安全用の法被配布、交通安全宣言の家の普



地域での出前交通安全講話

## 交通安全ビデオを寄贈

### 石和安協石和支部婦人部

石和交通安全協会石和支部(三枝力支部長)は、交通安全ビデオテープを町内二十七地区と、保育園・幼稚園等七園に寄贈しました。寄贈したもの



交通安全ビデオ寄贈式

にも及ぶ、交通安全事業を押し進めた結果であり、ここできくつか紹介

一、「セーフティドライブ」(八ヶ岳作戦)管轄内の企業・団体に参加を呼びかけ、平成十一年九月二十一日よりスタートし、翌十二年五月二十日まで

## 平成十一年の活動

### 長坂安協

長坂交通安全協会(伊藤重忠会長)は、警察等各関係機関・団体及び同安協役員等が連携を強めて協力した結果、前年比で交通事故の発生件数、死者、傷者数等を大幅に減少させることが出来ました。

この成果は、十三項目

は「ザ・シートベルト」と「危険な瞬間」の二巻で各種会合や高齢者の行事等の機会に上映していく予定です。

また保育園・幼稚園には幼児向け交通安全ビデオ四巻を贈り、寄贈式に出席した各園長さんは「交通安全は日常毎日の習慣にする必要があるの

で、機会があるごとに子供たちに見せたい」と言っていました。

また同支部婦人部は、同町内道路端のあき地に花壇を設置し、ときどき花の植え替えを行い、さらに同場所に「しめよう



厳粛の中で初出動(小笠原)

四、「チャイルドシート配布」安協では管内六町村へ子供の体形に合わせたチャイルドシート三種類を町村役場に配布して、展示し閲覧の結果、住民から好評を得て、自治体からの補助金制度の確立へとつながった。

交通安全協会・交通安全センターの名を詐称したアンケート調査にご注意

「交通安全協会または交通安全センターですが、……」といった、「若者の事故が多いので……」

○若い従業員の方  
○若い人で免許証を持っている方

○二〇歳〜三〇歳の男女それぞれの名前、生年月日、住所、会社名を教えてください。交通安全防止のアンケートをお送りします。などという電話がかか

つてきております。

このことについて、県内の会社・事業所の方から「電話の対応が悪く気分を悪くする」といった内容の苦情や問い合わせが交通安全協会にありま

す。

交通安全協会では、交通事故防止のための調査研究は行っておりますが、電話でこのような調査や照会を行っておりま

せん。

このような電話にだまされて会社や従業員の方にご迷惑がかからないようご注意ください。